

念珠嶽(503m)シライトソウ清掃登山



ヤマツツジ



シライトソウ



念珠嶽山頂



H24.6.10(日) 8名参加 (天草山岳会)

1号車-K、Y、S、NT

2号車-T、KH、N

3号車-NR

6/10 曇晴 9:10 天草市役所出発, 9:25 下浦 1名
合流,10:00 大作山登山口 1名合流,10:10 出
発,12:20 念珠嶽分岐,12:35 念珠嶽(弁当),13:15
下山,14:21 烏帽子岳分岐,14:33 烏帽子岳,15:15
三ツ岩分岐,15:30 鳴川岩峰群三ツ岩,16:00 大
作山登山口,17:20 本渡解散,参加費 60km500円
(資料代,保険代,写真代,車代還元 1000円)

町内清掃作業の為にいつもより1時間遅くなり本渡から6名が車2台で出発する。下浦で1名が合流し、栖本、倉岳を通り大作山(おおさくやま)登山口に到着した。

登山口で1名が合流し8名になる。準備体操、自己紹介をして出発する。梅雨の晴れ間で割と涼しい。カンアオイの花、ヤマツツジの花を観察しながら大作山(430m)へ登る。

大作山の北側から烏帽子岳の岩峰を正面に見る。ナルコユリ、ギボシ、トンボソウ、ギンランを観察、残念ながら花は見られなかった。

烏帽子岳分岐を過ぎ、ベンチの休憩所で一休み。天気も良くだいぶ暑くなってきた。念珠嶽の西側歩道のところで長崎緑山(りょくざん)13名の中高年パーティーに追い抜かれる。ロノ津港から鬼池港経由のマイクロバスで来島したそうで先を急いでいると仰った。

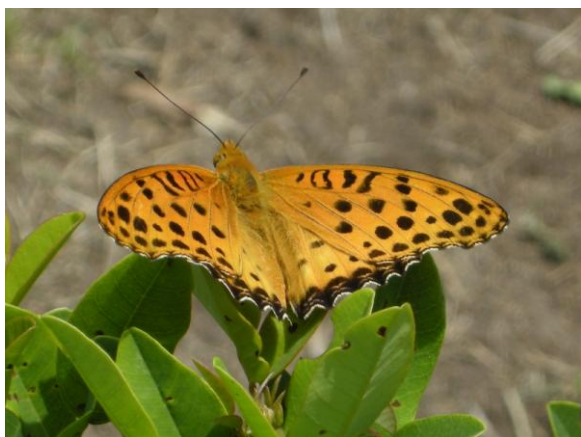
しばらく進むと歩道沿いにシライトソウが開花していたが今年の花は背が低く時期を1週ほど過ぎていた。先月27日日本町柱岳へ登ったとき山頂部のシライトソウは少なかった。やはり今春の低温の影響と思われる。念珠嶽分岐を右折して急坂を登る。標高が高くなるにつれてシライトソウの花がきれいに咲いていた。

天草観海アルプスの最高峰念珠嶽(503m)山頂では快晴となり、風もなく暑い。長崎緑山パーティーと木陰で弁当を食べる。

キアゲハ(オス)



ツマグロヒョウモン(オス)



烏帽子岳山頂



鳴川岩峰群(三ツ岩)



アイラトビカズラ(2012.5.13)



念珠嶽の山頂で複数の蝶が乱舞していた。時々葉に止まるので写真を撮ることができた。

『左の蝶は、キアゲハ(オス)です。アゲハチョウ科のチョウで春型はやや小型です。これから夏型が発生しますが、色が濃く鮮やかになり春型よりも大きめなのでナミアゲハと区別できます。全土に生息し、ニンジン、パセリ、マツバゼリなどのセリ科を食草とします。

次の蝶はツマグロヒョウモン(オス)です。タテハ科のチョウでヒョウモン(豹紋)チョウの仲間です。翅の縁(稜)が黒いということでこの名前が付けました。春先から秋までよく見られます。メスは前翅の黒の中に鮮やかな白があり美しいです。食草はスミレ類です。どちらも山頂で占有活動をよくしています。人の帽子や肩に止まることもあり親しまれています。

これからも、撮影なり、同定してほしい時はどうぞご連絡下さい。解説：TT先生』

烏帽子岳分岐から烏帽子岳に登る。このルートは当初深いウラジロの藪に被われて道が無かったので平成 17 年天草山岳会で藪ごぎをして道を付けた経緯がある。樹林帯を登ると東側の視界が開けて二間戸港と八代海が見渡せる。さらに右へ進むと大岩があり烏帽子岳(465m)山頂へ至る。東側がスッパリと切れ落ちて素晴らしい眺望。

遊歩道へ戻り、大作山を越えて鳴川岩峰群への分岐を先へ進む。ロープを掴みながら急坂を登り岩峰(401m)の頂上へ登る。NR さんによるとこの岩峰を三ツ岩(ミツイワ)と呼ぶそうである。山頂から田植の終わったばかりの大作山棚田が眼下に眺められた。大作山棚田は平成 11 年農林水産省から「日本の棚田百選」に選定された。

6 月は環境月間のため清掃登山を兼ねて空缶、空瓶、ビニール類を回収した。帰途、倉岳でアイラトビカズラを観察(花は 5/13 に咲いていた)し本渡へ帰った。(N)